

八幡桜の経緯

2002年八幡農事組合の役員で、区画整理事業で新しく施行される西古瀬川の堰堤に桜を植える案が惹起。

市区画整理課陳情。

河津町に視察。市区画整理課、石川補佐、伴野喜則技師、八幡農事組合、松井一二監事、太田道重監事、中野宏之前組合長。

国の「まちづくり交付金」（約1億円）を活用し、西古瀬川散策路等整備事業（市土木課）。ワークショップ5回開催、参加、市土木課、八幡区長、八幡・桜を育てる会。

2006年右岸番皿橋から上宮前橋まで部分的に57本。

2007年右岸の一部4本と、左岸の新堀橋から上宮前橋まで51本

2009年2月27日「八幡桜を育てる会」発足。会員49名。

2010年右岸の一部15本と、左岸の番皿橋から新堀橋まで45本。

河津桜の2から3年生の接ぎ木苗木を約10mに1本植栽。

苗木は、権田植物園（有）（大木町）を通じて茨木県の業者から仕入れた。

左岸は歩道から1mの草刈に対して、アダプトプログラム（市維持管理課）による助成金。

右岸は水際までの草刈に対して県の助成金をいただいています。